

川越市地域自立支援協議会 専門部会別名簿

委員を依頼する期間：令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	専門部会	座長	部会長	氏名	選出団体名等	委託相談支援専門員	主任相談支援専門員 オブザーバー等 ※太字は新規
1	仕事・活動部会		○	原 恭 子	障害者就業・生活支援センターかわごえ	水沼相談員（きやろっと） 名取相談員（けやき）	【主任相談支援専門員】 ・水沼 友美（にじの会）*再掲 ・佐藤 美幸（さぶり） （市内就労移行支援事業所） ・ウェルビー株式会社 ウェルビー川越 ・INSPIRE株式会社 Be happiness とおり町 ・株式会社リンクス リンクス川越西口
2				小 林 幸 路	社会福祉法人 皆の郷		
3				原 田 健 汰	埼玉県立川越特別支援学校		
4				堀 口 剛	川越公共職業安定所		
5				八 木 大 介	川越市立特別支援学校		
1	まちづくり部会		○	金 本 徳 夫	社会福祉法人 親愛会	山田相談員（のびらか） 茂木相談員（しんあい） 虎谷相談員（ともいき）	【主任相談支援専門員】 ・阿部 浩一（にじの会）*再掲 ・山田 英紀（のびらか）*再掲 ・慈道 宏美（ともいき）
2				阿 部 浩 一	社会福祉法人 川越にじの会		
3				内 山 智 裕	社会福祉法人 けやきの郷		
4				佐 藤 遼 平	社会福祉法人 川越市社会福祉協議会		
5				種 子 幸 奈	弁護士法人 川越法律事務所		
1	こども部会		○	溝 井 啓 子	チューリップ親の会	新津相談員（しんあい） 島野相談員（ともいき）	【主任相談支援専門員】 ・新津 重隆（しんあい）*再掲 ・佐々木 志保（グリッド） ・和田 誠（けやき） 【医療的ケアコーディネーター】 ・島野 直哉（ともいき）*再掲 ・和田 誠（けやき）*再掲
2				木 村 智 美	川越手をつなぐ育成会		
3				佐 藤 八重子	川越市児童発達支援センター		
4				水 見 哲 也	社会福祉法人 ともいき会		
5				湯 宮 薫	社会福祉法人 ハッピーネット		
1	地域移行部会	○	○	高 橋 幸 裕	山梨県立大学	宮田相談員（のびらか） 高橋相談員（けやき）	【主任相談支援専門員】 ・宮田 一久（のびらか） ・山内 智史（ヨハク） 【オブザーバー】 ・戸田 竜也（ヨハク） ・山内 智史（ヨハク）*再掲 （市内精神科病院相談員） ・川越同仁会病院 ・山口病院 ・岸病院 ・西川病院
2				恩 田 尚 美	川越市保健所 保健予防課		
3				樫 村 千 寛	特定非営利活動法人 サポートあおい		
4				中 根 祐 紀	特定非営利活動法人 サポートあおい （ピアサポーター）		
5				野 沢 桂 子	川越市やまぶき会		

*敬称略・選出区分ごとに50音順

*事業所名は略称表記

相談支援連絡会について

1. 目 的

- (1) 市内の相談支援員の連携を強化するとともに相談支援に関する知識と質の向上を図ることにより、相談支援を必要とする方へ適切な相談支援の提供が可能となるよう、地域の相談支援体制の強化を図る。
- (2) 相談支援の実施に伴う地域課題について抽出及び集約を図り、地域自立支援協議会へ課題提供を行う。

2. 参加者

- (1) 市内の相談支援専門員又は市内において相談支援専門員として従事予定である者並びに地域生活支援拠点事業に従事している者
- (2) 市内の保健、医療、福祉等に関わる相談員として従事する者であって、当該連絡会に参加することにより地域の相談支援体制の強化に寄与することが見込まれる者

3. 開催日

原則、毎月第3火曜日若しくは水曜日 10時から12時

4. 内 容

1 部：事務連絡、事業所紹介、課題別研修
・制度の改変等に係る説明 ・各種周知、事業説明 ・課題別研修において、医療的ケア、強度行動障害、高次脳機能障害などの個別テーマや相談支援に関するスキルアップ研修等を開催する。 令和6年度実績：「地域移行支援について」「地域自立支援協議会について」「障害者虐待防止研修」等
2 部：グループ演習、地域課題の抽出及び集約
・6グループを編成し、各グループに委託相談員又は主任相談支援専門員をファシリテーターとして配置した上で、個別事例の検討並びに地域課題の抽出及び集約等を行う。 ・グループは半期ごとに再編成し、各半期の最終月には地域課題を集約した上で地域自立支援協議会へ課題提供を行う。

5. 運営等

- (1) 事務局：障害者総合相談支援センター基幹相談担当
- (2) 企画運営：委託相談員及び主任相談支援専門員並びに基幹相談担当
- (3) 運営会議：相談支援連絡会の企画・運営等に当たり、当該連絡会終了後に開催

■令和7年度開催実績

開催日	内 容	参加人数
4月16日（水）	1部：事務連絡ほか 研修「地域生活支援拠点事業について」 2部：グループ演習	39名
5月20日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「障害者虐待防止研修」 2部：グループ演習	42名
6月17日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「福祉総合相談窓口について」 2部：グループ演習	38名
7月22日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「グループスーパービジョン」 2部：グループ演習	38名
8月19日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「地域自立支援協議会について」 2部：グループ演習	33名
9月17日（水）	1部：事務連絡ほか 2部：グループ演習、地域課題の抽出・発表	39名
10月21日（火）	1部：事務連絡、地域課題の集約・発表 2部：グループ演習（後期グループに再編成）	43名
11月18日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「地域包括支援センターについて」 2部：グループ演習	40名
12月16日（火）	1部：事務連絡ほか グループスーパービジョン 2部：グループ演習	50名
1月20日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「児童発達支援センターについて」 2部：グループ演習	47名
2月17日（火）	1部：事務連絡ほか サービス等利用計画について ほか 2部：グループ演習	44名
3月11日（水）	1部：事務連絡ほか 2部：グループ演習、地域課題の抽出・発表 令和7年度の振り返り	44名

■令和8年度開催予定 ※各回の内容については変更する可能性があります。

開催日	内 容	参加人数
4月21日（火）	1部：事務連絡ほか 令和7年度下半期演習まとめほか 2部：グループ演習	54名
5月13日（水）	1部：事務連絡ほか 研修「障害者虐待防止研修」 2部：グループ演習	49名
6月16日（火）	1部：事務連絡ほか ■主任相談 研修「意思決定支援の実践を考える」 2部：グループ演習	48名
7月21日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「サービス等利用計画の点検」 2部：グループ演習	名
8月18日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「地域生活支援拠点について」 2部：グループ演習	名
9月15日（火）	1部：事務連絡ほか 2部：グループ演習、地域課題の抽出・まとめ	名
10月20日（火）	1部：事務連絡、地域課題の集約・発表 2部：グループ演習（後期グループに再編成）	名
11月17日（火）	1部：事務連絡ほか ■主任相談 研修枠 2部：グループ演習	名
12月15日（火）	1部：事務連絡ほか 研修「サービス等利用計画の点検」 2部：グループ演習	名
1月19日（火）	1部：事務連絡ほか 情報交換会（高齢・児童分野等） 2部：グループ演習	名
2月15日（月）	1部：事務連絡ほか 事業説明「自立支援協議会について」 2部：グループ演習	名
3月9日（火）	1部：事務連絡ほか 2部：グループ演習、地域課題の抽出・発表 令和8年度の振り返り	名

令和 7 年度川越市障害者就労支援情報交換会の開催について (報告)

- 1 目的 障害者の就労支援に関わる各機関が互いの役割を理解し関係性を深めることで、就労支援における連携を促進し、障害者が希望する就労の実現に寄与することを目的とする。
- 2 対象 川越市内の就労選択支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所及び就労定着支援事業所の管理者又はサービス管理責任者並びに相談支援専門員、特別支援学校及び川越市地域自立支援協議会委員
- 3 日時 令和 7 年 12 月 10 日（水）14 時～16 時 55 分
- 4 会場 U_PLACE 3 階 川越市民サービスステーション会議室
（住所：川越市脇田本町 8－1）

5 内容

	開始	終了	内容／講師等
①	14：00	～ 14：05	■ 主旨説明等 川越市地域自立支援協議会 仕事活動部会 部会長 原 恭子 氏
②	14：05	～ 14：20	■ 就労選択支援の事業説明等 ～就労選択支援～ 障害者福祉課福祉サービス担当 主事補 佐藤 倫 氏
③	14：20	～ 15：10	■ 就労選択支援の実践事例の報告等 ～就労選択支援について考える～ 特定非営利活動法人東松山障害者就労 支援センター 代表理事 若尾 勝己 氏
④	15：10	～ 15：20	 休憩 

⑤	15 : 20 ～ 16 : 10	■ グループワーク
⑥	16 : 10 ～ 16 : 50	■ グループワーク発表及び講評 (講評：若尾氏)
⑦	16 : 50 ～ 16 : 55	■ 総評 (若尾氏)

6 参加者

	所属機関等	人数
1	就労支援事業所	32
2	相談支援事業所	12
3	特別支援学校	4
4	障害者就業生活支援センターかわごえ	5
5	川越市地域自立支援協議会	5
6	委託相談員	8
7	市職員	5
8	事務局	3
合計		74

7 アンケートの実施について（次ページ抜粋）

- (1) 実施期間 令和7年12月10日（水）～同年12月19日（金）
- (2) 実施方法 電子申請「川越市 LoGo フォーム」による
- (3) 回答数 35名／66名（市職員8名除く）
- (4) 回答率 53%

(アンケート結果抜粋)

Q. 障害者就労支援情報交換会について

- ・今後取り上げてほしいテーマを教えてください。
- ・御意見をお聞かせください。

1	選択支援について、実際に行った内容等を含めながら、具体的な内容が知れたらと思います。また、情報交換の時間をもう少し増やしていただけると嬉しいです。
2	就労選択支援の実施ケースについて共有を図ってほしいです。 各事業所の得意な支援や強み等について知りたいです。
3	選択支援での事例ケース。
4	就労選択支援に関しては、この後、川越市内でも支給決定者も出て、利用者も出てくるかと思しますので、その事例を報告してもらってもいいのかなと思います（ケース検討という主旨ではなく、実際にどういう手順で進めたとか。それに伴っての課題等）。 相談員目線になりますが就労移行支援事業所と今はあまり関わりが無いので、単純に就労移行の事業所の現状を話してもらっても有り難いですし、それこそ就労定着支援のことでこの情報交換会を以前やったかと思いますが、就労定着支援のその後の現状とかを取り上げてもらっても良いのかなと思いました（どれくらい関心があるか分かりませんが）。
5	なにをもって選択支援における選択肢の提示をしているのかについての講義や共有ができればと思います。
6	・人材育成の成功事例 ・福祉サービス事業所の余暇活動の情報共有。 ※サービスとしてどこまで活動しているか、また安全配慮義務について聞きたい。
7	各事業所のどのように運営や利用者の支援をしているか等共有出来る機会を設けていただきたいです。
8	困難事例に対してのアドバイス。
9	困難ケース検討会。
10	(その他意見) ・定期的な就労選択支援の情報交換会は必要だと思います。 ・今回も繋がりが必要だと感じているから多くの方が集まったと思います。 ・今後も、定期的な情報交換の場をいただけると心強いです。よろしくお願いいたします。 ・今後も継続的に開催してほしい。 ・事業所同士ね交流、情報交換の機会を、増やしてほしい。 ・お忙しい中多くの事業所が集まりとても有意義な会だったと感じました。今後もこのような横のつながりが持てる会があると、川越市内の事業所の底上げにもつながり良いのではないかと感じました。

就労移行支援事業所通所中の利用者様の訓練終了後の余暇活動の例

【就労移行支援の活動事例】

- ・利用者様・就労移行支援事業所・就労支援機関で野球チームを作りし活動
- ・毎月卒業生との交流会イベントの開催
- ・就労移行支援で1年に1回旅行に行っている。
- ・就労移行支援で1年に1回卒業生・元利用者様・利用者様にてイベントの開催
- ・清掃活動・ボランティア 市から備品貸与 など

【個別事例】

- ・訪問看護の活用
- ・地域活動支援センターとの連携/就労移行支援と併用は可能
- ・ボランティア活動
- ・当事者会の参加
- ・PC スクールに通っている。
- ・資格スクールに通っている。
- ・図書館で勉強している。
- ・自宅で訓練の続きで、デザイン、WEB ページの作成をしている。 など

【就労移行支援事業所の余暇活動の支援方針】

就職し、自立した安定した生活を送れるよう支援を提供する。

余暇活動の重要性について理解を深め、一人ひとりに合った活動の選択肢を広げるとともに、実際に余暇活動を継続して習慣化できるよう支援を行う。

〈支援〉

- ・余暇活動の重要性の理解→講座：余暇活動について考えよう、リフレッシュの方法、ストレスコーピング、帰宅後の活動の重要性、など
- ・具体的な余暇活動の促進の成果→創作活動(動画制作、デジタル画作成、小物づくり、料理など)、外部活動(当事者会、マラソン大会、音楽活動)、趣味(猫カフェ、サッカー観戦、図書館めぐり)

【課題】

社会資源、活動の場の情報が少ないため、他機関との連携をより強くする必要がある。